



2024年

富士フイルム・ FujiFilm Green Fund グリーンファンドに ご応募ください

締め切り

2024.5/7 火

*応募要項の公開・配布期間は3月からです。
応募要項のご請求は3月以降をお願いします。

富士フイルム・グリーンファンドは、今年（2024年度）で41年目を迎え、昨年までの助成先は219件となりました。身近な自然を守るために地域に根づいた活動をしてきた方、あるいは環境保全の研究を実際に進めてきた方で、この助成によって大きな進展が望める活動や研究を対象としています。

今年度は8件程度、総額850万円の助成を予定しています。

募集要項
をご希望
の方

ハガキまたはファクスに住所・氏名・電話番号・研究あるいは活動助成の別を明記の上、下記宛までご請求ください。また、一般財団法人自然環境研究センターのウェブページ (<http://www.jwrc.or.jp/>) から当該文書をダウンロードすることができます。

〒130-8606 東京都墨田区江東橋 3-3-7 (一財) 自然環境研究センター内
公益信託富士フイルム・グリーンファンド事務局

TEL.03-6659-6310 (平日 10:00 ~ 17:00) FAX.03-6659-6320 <http://www.jwrc.or.jp/>

2024 年度

富士フィルム・グリーンファンドにご応募ください。



応募資格

1. 活動助成を申請するものは、身近な自然の保全や、自然とのふれあい活動を積極的に行っていること
2. 研究助成を申請するものは、身近な自然環境の保全・活用の促進に関する具体的な研究や、ふれあいの場としての緑地の質的向上を目指した実証研究等を行っていること

対象となる活動 / 研究

1. 営利を目的としない活動及び研究
2. 活動及び研究が行われるフィールドは、日本国内であるもの
3. 活動助成の場合には、活動フィールドができる限り申請者（申請団体）によって既に確保されている等、活動フィールドの基盤がしっかりしているもの
研究助成の場合には、フィールドでの研究に対し地権者の許可もしくは協力関係が保たれているもの
4. 研究助成については、研究成果を調査対象地域に還元することを目的として、地域でのシンポジウムや発表会等を開催するなど、積極的に地域の人との交流にも取り組むこと
5. 個人もしくは団体申請において、活動及び研究の実績があるもの（ある程度実績があり、発展的な活動や研究を行うための申請であれば対象となる）
6. 個人による申請の場合、助成金の使途が助成の趣旨に沿って適確・厳正であり、助成金の使途において本人あるいは親族等、特別な関係のある者に利益を与えないもの
7. 団体による申請の場合、代表者または管理者の定めのある団体で、役員その他の機関の構成、選任方法、その他事業の運営に重要な事項が特定の者、あるいは特別の関係者等の意志に従わずに、決定・運営されている団体。また、特定の者等に特別の利益を与えていない団体
8. 大学に所属する教職員や研究者が行う研究については、他の研究費による成果との切り分けが明確なもの
9. 科学研究費による研究が好ましいと思われる研究は、助成対象としない
10. 過去に当ファンドの助成を受けた個人・団体は助成対象としない



過去 2 年の助成先

※団体名・所属名等は助成当時のものです

2022

- ・福島県飯館村・耕作放棄地の土地活用に向けた漆の試験栽培、苗木生育のための圃場整備活動
特定非営利活動法人ウルシネスト／福島県
- ・炭素循環型農業による生きものの保全・再生の拠点づくり
熊野の森もろおかスタイル／神奈川県
- ・埼玉西部を流れる高麗川並びにその流域の水生生物の調査並びに川での子供たちへの環境教育
奥武蔵ピースラボ／埼玉県
- ・自然界と共存し、自然界を保全していく町づくり活動
小泉ユニバーサルビーチユニット／宮城県
- ・淀川のワンドに生息するイサセンバラをはじめとした在来魚類の保全活動と地域に根ざした環境教育
城北水辺クラブ／大阪府
- ・耳石微量元素分析を用いたニホンウナギのハビタット間移動と堰との関係の解明
久米学（京都大学フィールド科学教育研究センター）／和歌山県
- ・ニホンスッポンとチュウゴクスッポンの交雑実態の解明ならびに交雑個体の検出法の確立
桑原紗香（三重大学生物資源学部）／三重県
- ・淡路島におけるシロチドリの実態・営巣状況の調査および保全対策の実施と検証
立田彩葉／兵庫県
- ・広島県における空気中の環境 DNA を指標にした森林野生哺乳動物の実態モニタリングとその応用に関する研究
西堀正英（広島大学大学院）／広島県
- ・東京都心域の都市緑地を活用したポリネーターガーデンの創出と技術的指針の検討
堀内勇寿（国立科学博物館筑波実験植物園）／東京都

2023

- ・「森の忍者・ムササビ」観察会及び生息調査／矢部郷自然観察会／熊本県
- ・佐賀の田舎から心を育み、生きる力を養う自然体験活動を届ける／秀島彩女／佐賀県
- ・子どもたちの日常の中に自然を取り入れるきっかけを与える事業
一般社団法人 Camp／福岡県
- ・猪名川河川域の植物調査（絶滅危惧植物の保全・増殖および昆虫が利用する植物のフェノロジーの製作）／大阪府立園芸高等学校ハニービーサイエンスクラブ／大阪府
- ・VRも活用した石狩川流域の湿地環境保全・利活用の普及活動
石狩川流域湿地・水辺・海岸ネットワーク／北海道
- ・越冬環境の泥と水の深さがサドガエル幼生の越冬成功と翌春以降の成長・発生に与える影響：江やビオトープを重視した保全対策の改善に向けて
高津邦夫（新潟大学佐渡自然共生科学センター）／新潟県
- ・大雪山国立公園の利用者とエゾナキウサギの良好な関係の構築のための自然・社会科学的
研究／渡辺倭二（北海道大学大学院地球環境科学研究院）／北海道
- ・山陰地方と北陸地方のミナミアカヒレタビラとヤリタナゴの分布および地域固有性の調査
野口亮太（NPO 法人流域環境保全ネットワーク）／三重県
- ・利根川沿いに生息する生物は交雑によって多様化しているか？
石井康人（東北大学理学部）／宮城県
- ・環境保全機能と集落の自治機能を損なわない小規模集落水道の存続条件
野田岳仁（法政大学現代福祉学部）／東京都

*写真は 2023 年度の助成先より

